

法学研究科

出 願 要 件 : G P A 基準あり
対 象 学 部 : 全学部
選 考 方 法 : 面接試問
入学試験日 : 2020年2月26日
お 問 合 せ : 03-3296-4145

2020年2月実施 博士前期課程

「学内選考」方式による入学試験

明治大学大学院 文系研究科

商学研究科

出 願 要 件 : G P A 基準あり
対 象 学 部 : 全学部
選 考 方 法 : 面接試問
入学試験日 : 2020年2月27日
お 問 合 せ : 03-3296-4704

政治経済学研究科

出 願 要 件 : G P A 基準あり
対 象 学 部 : 全学部
選 考 方 法 : 面接試問
入学試験日 : 2020年2月21日
お 問 合 せ : 03-3296-4150

経営学研究科

出 願 要 件 : G P A 基準あり
対 象 学 部 : 全学部
選 考 方 法 : 面接試問
入学試験日 : 2020年2月20日
お 問 合 せ : 03-3296-4705

情報コミュニケーション研究科

出 願 要 件 : G P A 基準あり
対 象 学 部 : 全学部
選 考 方 法 : 筆記試験・面接試問
入学試験日 : 2020年2月18日, 19日
お 問 合 せ : 03-3296-4285

教養デザイン研究科

出 願 要 件 : G P A 基準あり
対 象 学 部 : 全学部
選 考 方 法 : 面接試問
入学試験日 : 2020年2月26日
お 問 合 せ : 大学院事務室 (和泉)
03-5300-1529

※文学研究科は7月にのみ
「学内選考」入試を行います。

国際日本学研究科

出 願 要 件 : G P A 基準あり
対 象 学 部 : 全学部
選 考 方 法 : 面接試問
入学試験日 : 2020年2月21日
お 問 合 せ : 中野教務事務室
03-5343-8039

出 願 期 間

法学研究科, 商学研究科, 経営学研究科, 情報コミュニケーション研究科, 国際日本学研究科	2019年11月29日(金)～12月4日(水)
政治経済学研究科, 教養デザイン研究科	2020年1月8日(水)～1月10日(金)

進学の相談・入学試験の詳細は以下の事務室へお問い合わせください(試験要項は事務室で配布します)。

【駿河台キャンパスグローバルフロント5階 大学院事務室】 法学研究科, 商学研究科, 政治経済学研究科,
経営学研究科, 情報コミュニケーション研究科

【和泉キャンパス第一校舎1階 大学院事務室】 教養デザイン研究科

【中野キャンパス低層棟3階 中野教務事務室】 国際日本学研究科

「学内選考」入試とは

- ・明治大学生のみを対象とした制度です。
- ・現在の学部とは異なる分野の研究科にも出願できます。
- ・主に面接試問により選考を行います(一部研究科を除く)。

※出願要件を満たさない方は、一般入学試験・外国人留学生入学試験もご検討ください。

Q：大学院に進学した理由を教えてください。

米山さん：関心のあるテーマを教授のもとで深めていきたいと考えたからです。また、諸外国ではより多くの人々が大学院に進学しており、世界の人々と同じように自分の力を磨く選択をしてみようと思いました。

仲村さん：研究者を目指して進学しました。学部生のときに留学をしたのですが、留学先で同じ授業を受けていた大学院生から刺激を受け、自分の母語や言語についてもっと深く知りたいと思うようになりました。

大野さん：学部3年次に、就職をするか、大学院に進学するか迷ったのですが、家族に相談し、「学びたいことがあるなら大学院に進学してみれば」という後押しを受けて進学を決めました。

松田さん：学術的な理論分析をもっと行いたいと思い、進学しました。学部生の時に公認会計士試験に合格したのですが、実際に就職するにあたり、大学院で理論的な研究をして、それを実務に還元していきたいと考えました。



米山さん（指導教員：長坂 純 教授）
法学研究科 博士前期課程2年
（明治大学 法学部 卒業）
ボランティア活動における民法上の責任について研究している



大野さん（指導教員：伊藤 剣 准教授）
教養デザイン研究科 博士前期課程1年
（明治大学 文学部 卒業）
日本神話について研究している

Q：大学院での研究を将来どのように役立てていきたいですか？

松田さん：将来は、会計基準の開発や策定に携わりたいと考えています。私見ですが、会計の世界は実務と学術のバランスが重要で、その視点に欠けると適切な基準は形成されないと思います。そういう点でも大学院での研究を生かして貢献をしていきたいという思いが今は強いです。

大野さん：修士論文を執筆する上では、自分の論を論理的に展開すること、ほかの人に分かりやすく自分の考えを伝えることが大事です。大学院での研究を通じて培ったそのような能力は、例えばプレゼンテーションの場や企画書の作成時など、社会人になっても必ず役に立つので、そういった能力を社会で生かしていくことができればと思います。

在学生の声を聞きました！

大学院生座談会



仲村さん（指導教員：田中 牧郎 教授）
国際日本学研究科 博士前期課程 2年
（明治大学 国際日本学部 卒業）
日本語の歴史について研究している

Q：経済的なサポートで役に立ったものはありますか？

松田さん：私は明治大学独自の給付奨学金を受給しているため、大学からの経済的なサポートはかなり大きいです。家計に負担をかけたくないという思いがあったので、学費の負担を軽減してもらえるのは、やはり心理的な安定性も高まり、とてもありがたく思っています。

松田さん（指導教員：大倉 学 教授）
経営学研究科 博士前期課程1年
（明治大学 経営学部 卒業）
財務会計・国際会計について研究している

Q：進路のサポートで役に立ったものはありますか？

仲村さん：博士後期課程の進学を視野に入れていたので、日本学術振興会の特別研究員として採用を受けたいと考えていました。明治大学では、日本学術振興会の特別研究員の採用を目指す人へのサポートを目的とした説明会があります。申請までのスケジュールを提示してくれたり、過去に採用された方から申請書の書き方の指導があったりと、サポートが充実していたのがとてもありがたかったです。

米山さん：もともと研究者志望でしたが、途中で就職活動をしようと考え直しました。明治大学では大学院生に特化したキャリアサポートとして個別相談会というものがあるのですが、そこでまるまる一時間、キャリアカウンセラーの方に進路相談や面接指導を非常に丁寧にしてもらえたので、とても助かりました。そのようなサポートを受けられたことが、自分の内定につながったと思います。

Q：大学院への進学を検討している方へのメッセージをお願いします。

松田さん：大学院進学で得られるメリットはもちろん大きいです、しっかり突き詰めて考えたうえで決断することが重要だと思います。こういう研究がしたい、こういう分野を突き詰めたと思うことは、とてもすばらしいことなので、大学院で自分の力をつけていく上でも明確な目的意識を持つことが大事だと思います。

仲村さん：大学院に行くかどうか迷っている方にぜひ伝えたいのは、「研究者を目指していないから大学院には行かない」とは思ってほしくないということです。大学院で得られるものは非常に大きいです。もちろん学部でもそうですが、これまでに何が分かっていて、何が分かっていないのかを把握して、そこから自分で問題を設定し、適切な方法を選択して進んでいくという研究のプロセスでは、学術の場に限らずどのような場所でも生かすことのできる能力を得られると思います。自分が身につけたいものがあるのであれば、思い切って進んでみてほしいと思います。

米山さん：研究者を目指す、目指さないは別として、大学院を志望する人がいるということとはとてもすばらしいことだと思います。研究者を目指すにしても就職するにしても、明治大学の場合には充実したサポートがあるので、不安に思わずに飛び込んでみてほしいと思います。

大野さん：私は教養デザイン研究科のパンフレットを買って初めて「学内選考」入試を知りましたが、自分がそれに当てるまでは調べたところ、たまたまGPAが規定を超えていました。学部でしっかり勉強しておいた方が、大学院での研究にもつながるし、進路も広がると思います。あとは、自分の学部だけでなく、他の学部・研究科の教員・研究にもアンテナを張っておくと、私のように全く違う道にも進めるので、その二点は重要だと思います。



この座談会の全文は **MEIJI NOW** からご覧いただけます（11月下旬公開予定）。



<https://meijinow.jp/>